

# 2013年10月～総選挙直前まで1年間 戦闘状態にあったモザンビーク



# 第11回ProSAVANA事業に関する 意見交換会

NGO側資料【3】

## この間、プロサバナ事業は進められ、 安倍首相はモザンビークを歴訪



### 【日本政府の理解・主張】

- 「元武装勢力/最大野党のレナモが武装攻撃してきたから**政府軍が治安維持に乗り出した**」  
 <＝根拠は政府系報道。
- 「**治安の問題だから政府軍が平定すれば良い**」との理解  
 <＝レナモを政治社会勢力として認識せず、その存在の背景理解せず

### 【現地市民社会、識者、外国メディアの理解】

- 「レナモも問題だが、党首拠点を政府軍が奇襲攻撃し国会議員を含む殺害後、攻撃拡大」
- 「治安維持は警察マターで、国軍の動員は憲法違反」

### 【日本・中国・インド以外の在モザンビーク外交団】

- 両者へ和平合意遵守呼びかける。
- フレリモ政府による**軍事攻撃・軍事化、汚職、ガバナンス悪化も非難**。

## 現在のモザンビーク政治・社会を 何に基づき、どう理解するのか？



### 首都マプトで生じた3日間首都機能を停止させた民衆暴動



The Telegraph 01 Sep 2010

# 2014年選挙結果を日本政府関係者はどう捉えたのか？⇔実際のところ

## 【日本政府高官 2014年末】

- 「先の選挙ではレナモが躍進したが、和平合意まで党首は森の中に隠れていた。なのにどうやって躍進したのか。金銭的にどこがサポートしているのか？NGOがサポートしているのか？」
- 「色々な説があり、識字率も低く偏った情報が多いので分からない。」
- 「ガバナンスはそれほど悪い方ではない。」
- 「ジャーナリストからも規制やプレッシャーはそれほど強くないと聞いている。」

本当に日本政府はモザンビーク政治・社会の状況を捉えられているのか？

## 【モザンビーク政治研究者の理解】

- **社会に蔓延する反フレリモ感情**
- 「万年/公式野党化」したレナモが、MDM人気に直面し、2013年春よりフレリモ政府への明確な挑戦を開始
  - 特に不満の強い南中心主義に対する「地方(中・北部)自治権」の要求
- それを強権政治と武力でねじ伏せようとしたゲブーザ政権に対峙する党首デウラカマの姿が国民に認知
  - =>デウラカマ・レナモの人気
- **選挙不正に関する多様な国際・国内監視団の声明**
  - 同じ時期、「悪化する一方のガバナンス」を非難する他ドナーらの声明
- **投票日に独立系新聞サイトが閉鎖**
  - 他、米務省「人権報告」確認

# 実際は？ =>全国でデウラカマ人気 総選挙(2014年10月)直前に和平合意



BBC (16 Oct. 2014)

各地で大歓迎を受けるレナモ党首 アフォンソ・デウラカマ



The Guardian (14 Oct. 2014)

# 「偏った声」といわず、市民社会や独立系メディアの声に耳を傾ければ？



Mozambique has immense riches but also pockets of extreme poverty

- **国の利権(投資・開発事業)を梃にボロ儲けするゲブーザ親族/政権・フレリモ与党関係者**
- 圧倒的多数の貧困者らの不満
- **これを黙らせるための強権政治:**
  - 武装化・ギャングの活用
  - 言論の自由の抑圧
  - 国家資源等を使った操作
  - フレリモの村・職場での組織化
  - 選挙不正

ゲブーザ/フレリモ政府に対する広範な社会不満の存在

日本政府は、これをどう把握しどうつき合うのか？

# 2014年総選挙結果

Party	1994	1999	2004	2009	2014
フレリモ	129	133	160	191	144
レナモ	112	117	90	51	89
第三政党	9	0	0	8	17

第3政党:1999年はUD. 2009-2014年はMDM.

## • 全国的な反フレリモ票の増加

- この結果がフレリモ関係者自身に予想されていたほど、民衆の不満が広がっていた。
- 2013年11月の地方都市選挙で、ボイコットしたレナモに代わり、MDMが大躍進したことが、懸念を現実化。

## • 2014年国政選挙に向けた動員と選挙不正が準備される。



MPPBの見出し:「フレリモはまた「汚れた選挙」に勝利」



## モザンビーク政治・ガバナンス状態の把握の紆余曲折

- 以下の通り、2012年12月からの市民社会の情報提供等で外務省の現地理解もある程度進んだと考えていたが...
  - 2014年2月27日ODA政策協議会「安倍総理訪問時のモザンビーク大統領との共同声明」:
    - 【外務省】「モザンビーク政府にいろんな問題点、ガバナンス上の問題点があるというのは、事実だという風に思います。現にいろいろな衝突事件が過去において起こったということは我々もよく承知しております。」
- また戻ってしまった...
  - 2015年3月27日ODA政策協議会:
    - 【外務省】「世銀レポートの指標をみるとそうでもない」「アフリカの他の国と同じ程度」

◆ 「●●国と比べて」の話ではなく、モザンビークは1992年の和平後、平和と民主主義の定着の歩みを進めてきて、日本政府も賞賛する「模範国」となっていた。

◆ 日本が関与を深めた2009年以降(ゲブーザ政権の2期目前後)から急激に悪化している => 新現象

「主要ドナー」として何をどう把握し、どのように対応するのか？

11

## 在モザンビーク日本大使館「モザンビーク政治経済情報」

- 「モザンビーク共和国月報」が成果
  - 月1度の発行 (<http://www.mz.emb-japan.go.jp/>)
  - 政府系新聞・O País紙に頼ったまとめ
- 2013年末の「ProSAVANA事業に関する意見交換会」、「緊急勉強会@参議院議員会館」での指摘以降:
  - 少し改善された点もあるが、今度は出典が示されなくなった。出典明記は重要。
- 政治が二分化するモザンビークで、国・政治・社会を把握するには、多様な層の多様な資料を見ることが不可欠。
- しかし...

9

## この最中に国立大学法学教授暗殺 レナモの自治州構想「憲法上可能」と表明



ジル・シスタック: フランス出身。憲法学者として、1993年来モザンビーク人になって国の平和・民主主義の定着、ガバナンス改善に尽力。政府の委員も務める。

12

## JICAの情報源は依然変わらず？



ナカラ回廊トピックス

### 【JICA発行 ナカラ回廊トピックス】

- 2014年1月～現在まで
- JICAアフリカ部・モザンビーク事務所で発行
- 現地新聞等のクリッピングの日本語訳
- しかし...
  - 使われている原典の9.5割以上が政府系新聞(Noticias/AIM)
  - 唯一非政府系新聞として5%程が引用されるO País紙
- なぜ、他の新聞や情報源を確認しない？
- 企業は「宣伝」ではなく、「本当の話」が知りたく、「リスク」に備えたいのではない？

### 【モザンビーク政治学者の指摘】

- 政府系メディアの問題:
  - 政府の業績を広報
  - フレリモ政府のポジティブなイメージの拡散
- 問題・汚職については独立系メディアしか報じない

10

# 北部におけるフレリモの位置 野党がほぼ拮抗

FRELIMOの旗を掲げる民家



ナンプーラ州リバウエ郡(渡辺2014)

MDMの旗を掲げる民家



ナンプーラ州マレマ郡(渡辺2014)

## 国立大学政治学学者Pereira&Nhanale博士らの指摘 「モザンビークにおける2014年総選挙:根本問題の分析」

- 「16年間の戦争終結後、**最も困難な時期に突入**」
  - 政治勢力間の武力衝突
  - **投資・メガプロジェクトの一方で、社会的不平等の拡大**、進まない貧困削減、犯罪の増加、失業状態
  - 鉱山開発への不満だけでなく、**北部では土地問題を巡る紛争の増加**

- ゲブーザ政権以来の公共空間の掌握の強化  
【元々】: 経済・政治・社会空間の支配は強かった  
【2004年来】:
  - **国家組織の掌握**
  - **コミュニティレベルでの指導者らの掌握**
    - レグロ(伝統的チーフ)
    - 宗教指導者
  - CSOの代表ら
- 「**国家を通じたローカル指導者らへのインセンティブの増加**」 => 取り込み

モザンビークの社会状況は  
「**爆発寸前**」

## プロサバンナ対象州の2014年選挙結果

全国/州	大統領/議会選挙の別	MDM/ シマンゴ	RENAMO/ デュラカマ	FRELIMO/ ニュッシ
全国	大統領(得票)	6.36%	36.61%	57.03%
	議会(議席)	17	89	144
ガザ州 (南部)	大統領	3.03%	3.17%	<b>93.81%</b>
	議会	1	0	<b>69</b>
ソファアラ州 (中部)	大統領	8.76%	<b>55.91%</b>	35.33%
	議会	7	<b>46</b>	29
ナンプーラ州 (北部)	大統領	5.86%	<b>49.84% &gt;</b>	44.30%
	議会	1	45	<b>47</b>
ニアッサ州	大統領	<b>7% +</b>	<b>44.42% &gt;</b>	48.57%
	議会	4	34	<b>42</b>
ザンベジア州	大統領	8.21%	<b>52.75% &gt;</b>	39.04%
	議会	4	<b>51</b>	37

## レナモの自治州構想の背景

**【問題の所在】**

- 政府とフレリモの一元化
  - 大統領と議会第一党は両方フレリモ。
  - 大統領はフレリモ党の党首を兼ねる。
- 大統領が知事、郡長(administrador)等を任命
- **地方都市選挙での勝利により、「都市」の市長は野党が就任するように**
  - 例) ProSAVANNAの拠点、ナンプーラ市、グルエ市はMDMが市長
- 州レベルの投票結果でレナモが圧勝しても、知事はフレリモのまま

プロサバンナ対象州

「モザンビーク共和国月報」  
(日本大使館 2015年3月)

- 「同日、ドゥラカマ党首はマニカ州シモイオ市において、仮にフレリモが自治州構想案を否決する場合、レナモ側が勝利したと主張する北中部6州(ニアッサ州、ナンプーラ州、ザンベジア州、テテ州、マニカ州、ソファアラ州)にて、**力による統治も辞さない旨述べた。**」

## ナンブーラ州プロサバンナ対象郡 における2014年選挙結果

郡	MDM	レナモ	フレリモ
Nampula-Rapale	0	2 =	2
Meconta	0	2 =	2
Mogovolas	0	4 >	2
Muecate	0	1 =	1
Monapo	0	4 >	3
Mecuburi	0	1 <	2
Lalaua	0	2 =	2
Murupula	0	2 >	1
Ribaue	0	1 <	3
Malema	0	1 <	3

10郡中3郡でフレリモ、3郡でレナモ勝利、4郡で同じ議席。

19

## 地域ごとの州別の傾向

- 南部(首都マプトがある):フレリモの牙城
- 中部(レナモの拠点):レナモ・MDMが圧勝
- 北部ProSAVANA3州:フレリモとレナモ・MDMの勢力拮抗
  - 大統領選では3州すべてでフレリモ候補の敗北
  - 議会選ではフレリモが辛勝
  - これら3州で全有権者数(10,964,978人)中、42%(4,643,246人)を占める。その大半は農民。

複数政党選挙下でのフレリモ政権の安定には、北部農民を取り込む事が不可欠=>プロサバンナ事業推進の背景

17

## ニアサ州・ザンベジア州 プロサバンナ事業対象郡の選挙結果

州	郡	MDM	レナモ	フレリモ
ニアサ州	Lichinga	1 +	5 =	6
	Sanga	0	2 >	1
	Majune	0	0 <	2
	Ngauma	0	3 >	1
	Mandimba	0	5 >	3
	Cuamba	1	4 <	8
	Mecanhelas	2	6 >	3
ザンベ ジア州	Alto Molocue	0	3 =	3
	Gurue	1 +	3 =	4

ニアサ州7郡中2郡でフレリモ、4郡でレナモ、1郡で与野党同議席。

20

## プロサバンナ対象19郡における 2014年選挙結果

	全州/プロサバン ナ対象郡の合計	MDM	レナモ	フレリモ
ナンブーラ州	全体	1	45	47
	対象10郡合計	0	20 <	21
ニアサ州	全体	4	34	42
	対象7郡合計	4	25 >	24
ザンベ ジア州	全体	4	51	37
	対象2郡合計	1 +	6 =	7

- ナンブーラ州の対象郡:全州傾向と同様かなり拮抗(接戦)。
- ニアサ州の対象郡:州全体よりも野党が強い地域を含む。
- ザンベジア州の対象郡:州全体よりも勢力は拮抗。

18



## プロサバンナ事業で「コミュニティ・リーダー」として登場する人たち(1)



マプト市長選で候補者の後ろに並ぶ OJMとOMMのメンバーたち

- 1977年のマルクスレーニン主義を国是とした時に、フレリモの下部組織としてこれを支えるために結成
  - OJM(モザンビーク青年組織)
  - OMM(モザンビーク女性組織)
- かつては伝統権威に対抗した
- 民主化後、解体が提案されるがそれぞれ下部組織として残る選択
- **農村部のフレリモ政府の動員・集票マシンとして機能**
- **郡レベルの商人の多くが加盟**



23

## 人口が多く、反フレリモ票が多いが拮抗する北部農村の掌握は政治的最重要課題

ゲブーザ大統領・政権がやったこと・・・

- **ポプリスト的な政策としての「農業振興策」「投資導入」の推進**
- +
- **大統領から村レベルまでの、選挙や政策時の動員体制を構築**
  - 【一党支配時代の構造継続】
    - 大統領=>知事=>郡長=>行政ポスト長の上意下達構造
    - これに党組織・役員人事がパラレルに存在
    - 政府系の全職員(病院・学校・警察・軍)への党員化
  - 【共産主義時代の構造継続】
    - 大政翼賛のためのフレリモ党下部組織(OJM、OMM)
    - 各村に伝統権威とパラレルにいる「フレリモ書記長」の存在と役割
  - 【植民地時代の統治の復興】
    - 「伝統的権威(Regulo/Cabo等)」との和解と「公式(制服)化」によるコミュニティレベルでの掌握

この間の分析から、パシェコ農業大臣来日(2013年4月)以降のプロサバンナ事業はその流れの中に位置づけられる

21

## プロサバンナ事業で「コミュニティ・リーダー」として登場する人たち(2)



「プロサバンナ公聴会」の様子(2015年4月、渡辺)

会場の右側前方に帽子と制服の男性達が沢山座っている。これが「伝統首長」で、レグロ(上級チーフ)、カーボ(チーフ)等。

- プロサバンナの公聴会(2015年4月20~29日 \*開催日程は次スライド)

24

## パシェコ農業大臣とは？ (意見交換会ではなかったスライド)

- 元内務大臣
- その後、ゲブーザ政権下で農業大臣に就任。
- プロサバンナ事業が批判を受けて、日伯連携事業という軸足から、日本政府によって「モザンビークの事業」に推進される中で、主体的に関与し始めた。(2014年4月上旬の「プロサバンナ・ハイレベル会議」~)
- 内務大臣経験者ということもあり、「プロサバンナへの批判=外部者の陰謀」説
- 背景に、大統領になりたいという野心あり。2014年の大統領選挙の候補者として、フレリモ内で候補者の座を争う。
- ニュッシ大統領に破れたものの、「次期」を念頭に、農業大臣を継続。

22

## 農民人口が最も多い郡の一つである ナンプーラ州リバウエ郡の公聴会



- この公聴会では、**プロサバンナチーム5名、郡・行政ポスト関係者10名、教員3名、与党青年組織5名、ビジネスマン5名、ホテル従業員2名、伝統医療関係者10名、伝統首長2名、そして小農は6名のみ**(UNAC加盟農民組織含む)の参加であった。
- モザンビーク市民社会2名、日本NGO1名、ブラジル人研究者1名。

27

## マスタープラン素案公聴会 農業省発表日程

Data	Nampula		Niassa		Zambezia	
20	Seg	Rapale (Namaita/Rapale sede)		Chinbonila (conjunta)		Alto Molocue
21	Ter	Vila de Monapo /Netia	Mogovolas (sede)		Chinbonila	Alto Molocue
22	Qua	Posto Admin Corrane	Posto Admin Lolute	Mandimba Sede	Sanga (Malulu)	Gurue
23	Qui	Meconta -Sede	Posto Admin Namina	Mandimba Mitande	Sanga (Lussimbés.)	Gurue
24	Sex	Muecate (Imala/Sede)	Vila Sede de Mecuburi	Cuamba Sede/ Lurio	Majune (sede)	
25	Sab				Majune (Nairubi)	
27	Seg		Vila Sede de Mutuali	Mechanhelas sede	N'gauma sede	
28	Ter	Lalaua-Sede	Vila de Malema	Mechanhelas Entrelagos	N'gauma N'gauma	
29	Qua	Ribaue (Iapala-Sede)	Murrupula (Kazuzu/ Sede)			

25

## モザンビークにおける集会・公聴会 歴史と現在

- 1975年～1990年:
  - 一党支配体制下(共産主義)時代のフレリモ党による農村・都市部での集会
- 1992～: 和平合意後の複数政党制下
  - 市民社会の役割の増大による「対話」集会
  - 選挙キャンペーンのための農村・都市集会
- 最近: 論争のある政策に関する公聴会
  - しかし、多様な意見を『聴き』『対話』し、『政策に活かしているか』に多くの疑問の声
    - 期待されるシャンシャン
    - 貧困をめぐる公聴会
    - 刑法をめぐる公聴会等
    - プロサバンナのマスタープラン素案に関する公聴会
- ゲブーザ政権が培った農村部の掌握構造の中で生じる
- 4月2日決定: レナモの自治州構想も「公聴会」へ
  - 多くの行政関係者にとっての「予習」



期待されるシャンシャン

28

## 「コミュニティ・リーダー」 「伝統的権威」とは誰か？



- 解放闘争期・独立後の共産主義下で一旦排斥した「伝統的権威」(首長や呪術師)らが、北部で特にレナモに協力したため、1990年代後半に「和解」。
- 伝統首長: フレリモに転向させるため、「表彰」し、制服・自転車・報奨金を与えた。
  - 必ずしも「伝統的に正当」ではない「伝統権威」も多いが、政府にお墨付きを与えられる。
- 選挙での効果をみて、積極的にフレリモ政府の下部構造に組み込む。
- 土地采配の役割を持つが故に、投資家・政府役人による土地収奪に加担することも。

26

## ドイツ国際放送記事 「フレリモ指導者らは公的資金を選挙キャン ペーンに濫用」(2014年9月30日)

- O Centro de Integridade Pública de Moçambique (CIP) apresenta como provas deste desvio de fundos a correspondência trocada entre os dois funcionários e três cheques por eles assinados, no valor de 67 mil meticais (cerca de mil e 600 euros), para pagar contas telefónicas do partido e adquirir cabeças de gado destinadas a confeccionar refeições para altos funcionários da FRELIMO de visita ao distrito Barué, na província de Manica. O dinheiro foi ainda gasto em combustível para as deslocações relacionadas com estas visitas.
- Esta quarta-feira (03.09), a Associação dos Parlamentares Europeus para África (AWEPA) também acusa a FRELIMO de usar meios do Estado na campanha para as eleições gerais.
- Num boletim, a AWEPA acusa quadros da Frente de Libertação de Moçambique de utilizar viaturas do Estado para ações de campanha para as eleições gerais de 15 de outubro.
- O CIP está neste momento a fazer uma cobertura à escala nacional do processo eleitoral. Conseguimos ter 150 correspondentes em cada um dos distritos do país para identificar e reportar todos os ilícitos eleitorais.
- <http://www.dw.de/mo%C3%A7ambique-dirigentes-da-frelimo-usam-dinheiro-p%C3%ABablico-para-financiar-campanha/a-17896987>

31

## モザンビーク農村部の政治・選挙で 最も重要な役割を担う「郡長」

公聴会で批判的な意見者には、「外からカネをもたらしている」と非難する郡長



この結果、地方行政が政治化。郡長による住民生活への介入が強まる。特に、勢力が拮抗している、負けている郡では格別。

- フレリモ高官になるには、地方行政のトップを務める必要がある。
  - 多くが知事→大臣
- **ゲブーザ政権以降、選挙で「負けた」郡長の降格、弱い郡で「勝利」した郡長の昇進が定番に**
- 郡長は、
  - 「選挙に勝つためなら何でもやる」。
  - 郡の名前(=自分の名前)が悪く売れるのを徹底して避ける。(その逆しかり)

29

## 唯一与党が圧勝したニアサ州のフレリモの牙城 マジュネ郡の公聴会で披露された 「Vivaプロサバンナ劇」



- プロサバンナ関係者による「住民」を巻き込んだ「宣伝」活動
- 公聴会に参加せず、寸劇だけを披露
  - つまり、「宣伝チーム」
  - お金をもらっているのか？

- プロサバンナ担当官、「コミュニティリーダー」、男女5名による寸劇
- 午前と午後2名以外は同じメンバー(ヤオ語、マクア語通し)
- 公聴会での他の参加者の自己紹介後、どこからともなく現れ、寸劇後消える。
  - 自分たちの自己紹介はせず。
  - 名前も属性も紹介せず。

32

## モザンビーク政治学者らのフレリモ政府の傾向を象徴する指摘

- フレリモ高官らの姿勢を象徴する言葉:  
Mariano Matsinhe (2007):  
「我が国における野党(反対者)は消滅すべき。そのため、**フレリモは野党(反対者)を無効化するために努力し続けなければならない**。権力に留まるため、我々フレリモは何でもやる」

Pereira&Nhanale (2014)

30





## 公聴会で披露された 「Vivaプロサバンナ劇」

1. 【夫婦の場面】「今年はこんなにトウモロコシの出来がよくなかった。どうやって食べていくんだ。」妻:「あなたが飲んでばかりだから悪いのよ」
2. 【友人の登場】「自分のキャッサバもこんなに出来がよくなかった。でもProSAVANAがあるんだよ!」何だよそれ?」のやりとり
3. 【ProSAVANA担当官とコミュニティリーダー】「プロサバンナについて説明しにきました」「あなたたちを支援するものです」「農具や農薬、化学肥料を提供して、研修も行います。それでいっぱいつくれるようになりますよ」「土地が取られるんじゃないのか」「土地は取りません」「種もこんなに差し上げます。」
4. 【夫婦】「プロサバンナのおかげでこんなにトウモロコシができた。私の洋服もこんなにきれいになったのよ。」
5. 【コミュニティ・リーダー】「みんなでプロサバンナ事業を行ってくれたことに感謝」

事業内容を正確に示しておらず、マスタープランの内容でもない。  
政府主導の住民向けのプロパガンダ。これで「公聴会」なのか？

33

## プロサバンナ事業・マスタープラン は一体誰の何の為？

- 不透明性を増すプロサバンナ事業
  - 露骨なUNAC外し
  - マスタープランの協議に時間を設けないことによる分析・批判の回避の試み
  - しかし、実際は農民の懸念を裏付けるような記述もマスタープランには多い
- 「**農民も賛同した**」とのお墨付きを与えるために企図された公聴会
  - 各郡で動員された与党・政府の関係者
  - モザンビークの民主的統治すら歪めている現状
- このままいくと、「**フレリモ党農村開発事業**」に
- レナモ自治州構想の公聴会の「練習」

34